



こんにちは ひぐち英明

219号 2012年10月21日 連絡先：日本共産党左京地区委員会 Tel761-6341
左京生活相談所 Tel781-6622

ホームページ http://www.5f.biglobe.ne.jp/~higuchi/

新景観政策に逆行する京都市



今年是世界遺産条約40周年というこ
とで、京都でもシンポジウムが開かれま
す。そのプレ

企画と位置
付けて、まち
づくり市民
会議のみな
さんがシン
ポジウムを
開き、今の京
都市政の景
観政策のお
粗末な実態
を告発しま
した。

■はじめから少なすぎた予算
簡易型の耐震改修助成制度である、「まちの匠の知恵を活かした京動とわが党の繰り返し

追加予算がついた耐震改修助成制度

- 簡易な耐震改修助成制度（まちの匠の知恵を活かした京都型耐震リフォーム支援事業）
240件分（5,320万円）
- 本格的な耐震改修助成制度（木造・京町屋等耐震改修支援事業）
20件分（1,680万円）
- 受付開始
10月22日（月）午前10時
- 受付場所
京都市すまい耐震支援窓口
電話 644-5874

10月22日から受付再開
運動と論戦で耐震化施策が前進

の議会追及の中で、今年度、やっとつくられた制度です。市民から待たれていた制度ということ、年度当初の500件分の予算は、受付からわずか1ヶ月半ほどで終了。私は2月議会で、500件という数が少なすぎると指摘していましたが、9月に補正予算が提案され、240件分が追加され、10月22日から受付が再開されることになりました。

■地元業者の仕事も増加
この制度が優れている点、耐震工事への関心が高まり、本格的な耐震改修工事が増えること、が挙げられます。さらに、この制度が話題になることで、耐震工事への関心が高まり、本格的な耐震改修工事が増えること、が挙げられます。さらに、この制度が話題になることで、耐震工事への関心が高まり、本格的な耐震改修工事が増えること、が挙げられます。

共産党が伸びてこそ政治が変わる

橋下・維新の会の支持率が急降下しています。元民主・自民の国会議員で



はら俊史衆議院京都2区
国政委員長と一緒に街頭で訴え

日本維新の会を立ち上げたのですから、国民の支持が得られないのはあたり前です。消費税増税ノー、原発即時ゼロ、オスプレイ配備撤回など、国民の立場でモノが言える共産党が伸びてこそ、政治を変えることができます。

左京各地で区民運動会



9月～10月に左京各地で区民運動会
私もあいさつにまわりました

ひぐち英明
ホット・コム

山中伸弥さんがノーベル賞を受賞されました。同じ日に阪神の金本知憲選手の引退試合が行われました。

その次の日の朝刊を見ながら長男（小6）が「なんで昨日ノーベル賞をとるんや。金本の記事がもっと大きいのはずだったのに」と文句を言っていました。長男にとっては、金本選手の引退の方が大事件でしたが、世間一般ではなかなかそうはなりません。

さて、ノーベル賞の山中さんは、自身の研究が直接難病患者の治療に結びつくわけではない、との話を繰り返していらいます。しかし、治療の可能性が大きく広がったことは間違いない事実です。基礎研究が世界的に評価されていることが重要だと思えます。

大学に対する国からの補助が大きく削られる中で、直接企業の儲けにつながる研究をして、その企業からの資金で大学を運営するという方向が強められています。これでは、山中さんのような基礎研究が続けられなくなる、この懸念が関係者のみなさんから繰り返し出されています。日本が、文化的にも科学的にも発展していくためには、土台となる基礎的な研究を国として保障する必要があると思えます。